

各 位

2022年8月19日
株式会社マイネット
(コード番号:3928)

2022年12月期 第2四半期決算説明会 質疑応答要約

Q1：2018年以降に買収したタイトルの回収期間が長期化しているのは何故でしょうか。

A1：18年・19年は当社がこれまで得意としてこなかった大幅な赤字タイトルやローンチしてから時期の浅いタイトルの買収、既存タイトルの海外新規展開をチャレンジした経緯があり、これらのタイトルの一部で回収が遅れているものの、回復基調のタイトルを中心に着実に回収を行っています。20年は順調に回収が進んでいます。21年以降は大規模タイトルが中心のため、投資額が大きくなっていきます。全てのタイトルが順調に進行しているわけではありませんが、回収できるよう進めてまいります。

Q2：ファンタジースポーツ事業の今期（2022年12月期）の売上高や利益目標を教えてください。

A2：ファンタジースポーツ事業は投資時期と位置付けており、個別の開示は現時点では行っていません。クラブDX事業等の新規事業と合算した損益の予算は決算説明資料P7で記載しているとおり、今期は-5.2億円を見込んでいます。

Q3：クラブDX事業の現時点での成果と課題について教えてください。

A3：マイネットが滋賀レイクスに経営参画してから約11ヶ月が経ちましたが、成果は良好と捉えています。「Bリーグ1デジタルに強いクラブ」をコンセプトにデジタル人材の採用が進み、盤石な組織体制が構築出来ており、22-23シーズンは過去最高の売上高予算を編成することが出来ています。また、20-21シーズンの最優秀新人賞やナショナルチームにも選出されている選手の獲得などチーム強化が着々と進んでおり、パートナー獲得やファンクラブの会員増にも表れています。課題は滋賀レイクスの新B1リーグの審査基準の到達です。売上高基準は十分クリアできると考えていますが、入場者数基準とアリーナ基準の到達がチャレンジングな課題として捉えており、アリーナの改修、新設も検討しながら基準クリアを目指します。

なお、2022年12月期第2四半期 決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/3dP38mqami8>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上